



日本包装専士会 関西委員会の活動

日本包装専士会関西委員会では関西在住の会員向けに関西ミニセミナーや見学会等、独自の活動を企画し、情報の共有化とコミュニケーションをはかっています。

日本包装専士会に入会して4年目になりますが、この度、専士会理事会にて活動することになりました。包装専士会を通じて包装業界の発展に貢献していきたいと思います。昨年のTOKYO PACK 2024 では講師という大役をいただき、「自社の包装遍歴と新たな挑戦」として発表させていただきました。

昨今の食品包装を取り巻く環境との変化と新たな取り組みについては、サーキュラーエコノミーの実現とサステナブルな業界・業種を超えた取り組みが必要になってくると考えています。

包装専士会の役割としては、『世界を見据えた日本の包装業界発展』が求められていると考えており、関西委員会では今後のセミナーや展示会の担当として活動し、その中で自身が果たす役割を果たしていきたいと思っています。特に新入会員に近い立場から、皆様に興味を持っていただけるような話題を積極的に提供し、また、提案や発信ができるよう努めていきます。

オハヨー乳業株式会社 松井幸一郎

専士会関西委員会ミニセミナー開催

関西委員会では6月3日(火)に関西会員ミニセミナーを開催しました。

「飲料用ガラス瓶」の基本知識と実際のガラスびん使用者の目線から、製造と充填工程での「ここだけ話の品質」についての話も交えて、リアル出席者やWeb参加者と意見交換をしました。

ガラス容器は非常に優秀な容器で、無臭・透明・ハイバリア性・耐薬品性・高級感があり、保存容器として他に変わるモノはありません。リサイクル面でも優等生である半面、重い・割れるという商品用途によってはリスクとなることもあります。下図は資料の一部。

